

三島新聞

町のすがた

(12月1日現在)

人口 男 3,331人(-6)
 女 3,621人(-10)
 計 6,952人(-16)
 世帯数 1,557 (0)
 ()は11月1日との比較

1250年

第93号

発行 昭和50年12月15日
 新潟県三島郡三島町役場
 ☎(025842) 内2221
 印刷 長岡市北越印刷機



仕込み

寒さが身にしみると火のそばで、ほどよいかんのお酒を「キニッ」とやるのが愛飲家の楽しみ。仕込みの最盛期をむかえた町のある「造り酒屋」を訪ねた。

うす暗い酒蔵の階段を「トットト」と威勢よく「飯桶」を肩にかけ上る。「餅四段掛」(もちよだんがけ)という仕込み作業が行われていた。

今では、機械化で蒸し米を運ぶのはベルトコンベヤーにかわってしまい、酒に甘味をつけるために入れる餅米を運ぶときにしかこの作業は行われていない。

年の納め

ことしはいよいよ最後の月、昭和五十年のしめくくりの月でもあり、くらしの上での年度末でもあります。

役場は三月、会社などでも三月が年度末のところが多いようですが、生活感覚から受ける感じは、むしろこの十二月が年度の区切りになっています。

十二月のよみをみますと、神事、仏事、農事について、日ごと「納め」の……「なに」なにといった文字が目立ちます。これはくらしの中で一年のけじめをつけてきた先祖のいとなみだったことのしるしです。

季節はくり返しくり返しやってきますが、新しい年を迎える人の気持には、多少ちがったものがあることでしょう。それが「希望」といわれることか。

お説教じみて恐縮ですが、年の暮れに中国の詩人陶淵明(三六三~四二七)の時から「三行抜き書きを」——

一 日難再展
 及時当勉勵
 歲月不待人

——文字を見れば大体見当はつくと思いますが、いってみれば若い時代は二度と来ない一日に二度の朝はよいこの機会に勉強しよう

時の流れは人を待つてはくれぬ。という意味ですが、もう千五百年も前にうたわれたこの詩からうける感じは、今日でもそのままに通用するのではないのでしょうか。



郷土資料館

現在町で作られている両刃鋸、片刃鋸をはじめ、十六枚の鋸を町郷工業組合のご厚意により資料館に陳列することができました。

「豊かな生活経験と伝統に支えられた職人芸は、人々の生活に便宜と潤いを与えた」の言葉をその製品を見ることができるとは、受けとめることができるのです。

町に鋸の製造が始められてから百数十年。人が手に道具を持つようになってから人類の歴史が始ま

と想像すれば、一番大切で根本的な問題は、その人がどれくらい正しく物事を理解しているかという点だと思えます。

正しい知識を持つことで自然に解決される事が多いはずで、例えば高血圧の予防には塩分を減らすことか、糖尿病の人が病気を悪化させずに生活するには食事療法が大切だとか、癌の予防は早期発見、早期治療しかないのだとか、かぞえあげればきりがなく思われます。

「いっけん健康 実は胃潰瘍」

早期発見と言え、十月に町が実施した「胃検診」三百二人の受診者のうち何んらかの異常のあった人が二十人もありました。

そのうち八人の人が胃潰瘍と診断され、二人の人は直ちに入院し手術を受けるという、恐ろべき結果がでました。受診した大部分の人は別に自覚症状があつて受けたわけではなく、念のため受けてみようかという軽い気持ちだったといひます。

さらに七月に実施した「成人病検診」では約二十三割、十月に実施した「子宮癌検診」でも八割の人にそれぞれ何んらかの異常が発見されています。

自衛官募集中

○ 応募資格 採用予定月の一日現在満十八才以上二十五才未満。

○ 照会先待選 その他応募について詳しいことは総務課についてでもおたずねください。

みなさんの声を、みなさんが知りたいことをより早くお知らせし町考えも正しく理解していただくための「生きていく三島」を……。

思う半分も実行できず「理想」だけ頭の中に残ってしまった今年もう鬼も笑わないでしようから、このことを肝に銘じて来年を期しています。

来る年が、みなさまにとってもさらに良い年でありますように。



健康は正しい知識と検診で

健康だより



寒くなりましたね。いかがお過してしようか。かぜなどひかないよう十分お気をつけください。

健康を考える場合に何といつても病気になることを抜きにすれば考えられないと思います。例えば病気になるためにどうするか、どこも悪いところが無いから健康だというような表現をします。

それではその健康を維持し病気になるためにどうしたらよいのかということになります。細かいことはいろいろあられる

と思えますけれど、一番大切で根本的な問題は、その人がどれくらい正しく物事を理解しているかという点だと思えます。

正しい知識を持つことで自然に解決される事が多いはずで、例えば高血圧の予防には塩分を減らすことか、糖尿病の人が病気を悪化させずに生活するには食事療法が大切だとか、癌の予防は早期発見、早期治療しかないのだとか、かぞえあげればきりがなく思われます。

正しい知識を 正しく判断

現代のように新聞、テレビ、雑誌とマスコミの発達した世の中であれば、自分さえ希望すれば知識を得る機会が多いと思えます。しかし得られる知識が必ずしも正しいとは言えない場合がたくさんあります。

現われては消えてゆく健康法がどの位あったでしょうか。やれ紅茶きのこだ、人参茶だと思いつくの苦労はいりません。

健康というものの正しい理解がなかったばかりに効果の少ないものに多額のお金をかける人が意外に多いと聞きます。

私たちはより少ないお金でより高い効果をと願うものです。正しい知識を持って正しい判断ができるようになりたいと思えます。

12月の衛生行事

月日	種目	対象者	ところ	とき
12.18	二才児検診	48.7.1から48.12.31 生れの幼児	総合福祉センター	12.30 ~14.00
12.25	乳児検診	生後3か月~1才未満の乳児	〃	12.30 ~14.00

忘れられがちな一人くらしの老人に いたわりを

忙しい時こそ ストープの 時期です

置場所に 注意しましょう

